

実現させよう！答志島架橋

答志島架橋通信

発行：答志島架橋建設促進協議会 会長 答志町内会長 濱崎靖導



離島架橋に関する勉強会を開催！

平成26年7月15日（火）に答志コミュニティアリーナにおいて、平成26年度総会および離島架橋に関する勉強会を開催しました。勉強会には、（公財）日本離島センター調査研究部長の仲田成徳氏を講師としてお招きし、「架橋と離島活性化」をテーマにご講演いただきました。当日は大変厳しい暑さの中、約100名の答志3町の会員の皆さまにご参加いただきました。

講師の仲田氏は淡路島出身で離島振興の仕事にたずさわられて約30年。長年の経験と見識をもとに、架橋実現へのプロセスや島民の心構え、架橋に際しての地域の留意点など全国で実現した架橋の具体的な事例を紹介されながらお話いただきました。

当協議会の今後の活動の参考になるとともに、架橋の実現について一人ひとりが考えるいい機会になったのではないのでしょうか。

講演の詳しい内容と、当協議会総会で決定した平成26年度活動計画をご報告します。（裏面へ）



離島架橋に関する勉強会

～仲田部長講演内容要旨～

いる。地元として生半可な覚悟で着手できない事業であり、10年後どうなっているか、自分たちは将来、地域をどうしたいかを考えた上で着手すべき事業であると言える。そのためには地域の合意形成が重要。岡山県日生諸島では頭島と鹿久居島を結ぶ橋が架かっており、鹿久居島と備前市を結ぶ橋がまもなく完成する。日生諸島では島民の組織ができてから30年ほど経過しており、その間、活動費に充てるため島民の皆さんがお金を積み立てるという取組みもされている。架橋によって今までの地域と様相が変わることから、考えられる事前の準備が必要であり、島内道路の整備なども大切なこと。

離島架橋は長く粘り強い活動をしていくしかない。島民の皆さんの総意で、架橋のために頑張っていくという意思表示となる活動を行っていただきたい。

離島架橋は、常時陸上交通を確保できるということ、つまりは生活の安心安全が確保できるということが大きな役割だと思う。全国の離島架橋をみてみると完成するまで平均10年はかかっ



総会開催～今年度は知事への要望活動を行うことが決定！～



平成26年度総会では、25年度の実施した市民運動会での答志島架橋建設促進のためのPR活動などの活動や収支決算の報告、また26年度の活動計画案と予算案が提案し、出席した島民100名の皆さんにご承認いただきました。

また来賓として、木田市長、中村県議、永富島羽磯部漁協組合長にご出席いただきました。

今年度、実施する活動計画については次のとおりです。

活動①

小学生に答志島架橋へ思いを綴った作文の依頼

答志小と桃取小の4年～6年生の皆さんに架橋実現の思いを綴った作文を夏休みに書いていただきます。（ご協力いただいた皆さんありがとうございました。）

活動②

知事への要望活動の実施

H21.3に当時の野呂知事に要望活動を行って以来、2度目の要望活動を行います。小学生の皆さんに書いて頂いた作文をもって鈴木知事に要望します。

活動③

市民運動会での啓発活動を実施

昨年度に引き続き、島民以外の皆さんに当協議会の活動を知っていただくため、10月11日開催予定の市民運動会にて、PR活動を行います。



今年度も答志島架橋建設促進協議会の活動にご理解とご協力をよろしくお願いします。